

障害者の文化芸術



佐久田祐「パリ・シリーズ1」

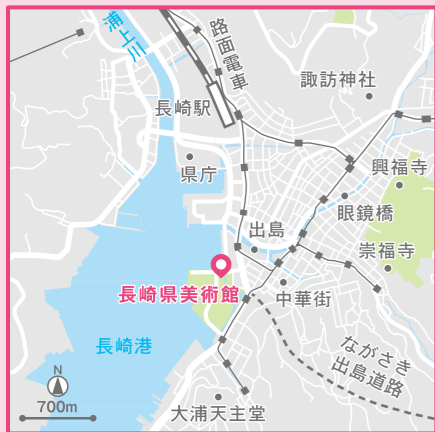
プロジェクト in九州

3「農×福×食」九州の食を味わうイベント

ARTBRUT CREATION NIPPON in NAGASAKI
会場：長崎県美術館 県民ギャラリー（入場無料）
登利亭 国見店（2,000円）
2020.9.17（木）→26（土）

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によってはWebでの映像配信になります。最新情報はHPをご確認ください。

<http://www.artbrut-creation-nippon.jp>



長崎県美術館

〒850-0862 長崎市出島町2-1 TEL:095-833-2110
路面電車○出島電停 徒歩3分○メディカルセンター電停 徒歩2分
<http://www.nagasaki-museum.jp>

登利亭 国見店

〒859-1325 雲仙市国見町多比良戊291-1
自動車○島原鉄道 多比良町駅より約5分

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組について

来場者へのお願い

- 来場（農福食のイベント含む）前に、厚生労働省開発の新型コロナウイルスアプリ(COCOA)を各自のスマートフォン等にインストールし、ご利用ください。
- 体調不良(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)の方は来場を控えてください。
- 入場時に氏名、連絡先等をご記入いただきます。
- 入場時にサーモグラフィー等で体温を測定します。発熱があった場合は入場をご遠慮いただきます。
- 当日はマスクの着用をお願いいたします。
- 観覧中は、他の人との距離を確保してください。
- 大きな声での会話はご遠慮ください。

App Store Google Play



COCOAのインストールはこちらから

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

スタッフの取り組み

- 毎日、検温・体調確認を行い健康管理に努めています。
- マスク・フェイスシールド等着用の上で案内いたします。また、こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を行います。
- 場内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化しています。
- 場内は密閉した空間にならないよう、定期的に換気を行っています。

【主催】

文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル in九州ブロック実行委員会

【共催】

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟、長崎新聞社

【連携】

厚生労働省、障害者芸術文化活動普及支援事業連携事務局(社福)グロー

【構成団体】

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク(事務局：(一社)全国手をつなぐ育成会連合会)

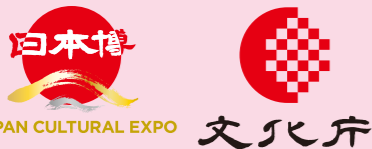
- (社福)日本身体障害者団体連合会、2.(社福)日本視覚障害者団体連合、3.(一財)全日本ろうあ連盟、4.(一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会、5.(社福)全国重症心身障害児(者)を守る会、6.(一社)全国手をつなぐ育成会連合会、7.(公財)日本知的障害者福祉協会、8.(特非)全国地域生活支援ネットワーク、9.(公社)全国精神保健福祉会連合会、10.(一社)日本精神科看護協会、11.(一社)日本自閉症協会、12.(一社)日本発達障害ネットワーク、13.全国社会就労センター協議会、14.(特非)DPI日本会議、15.全国社会福祉法人経営者協議会、16.全国身体障害者施設協議会、17.(特非)日本相談支援専門員協会、18.(一社)日本精神保健福祉事業連合、19.(一社)全国児童発達支援協議会、20.(一社)全国知的障害児者生活サポート協会、21.(公財)日本ダウン症協会、22.(特非)バリアフリー映画研究会、23.(社福)全国盲ろう者協会、24.(社福)日本肢体不自由児協会、25.(特非)手話ダンス YOU&I、26.(一社)HAND STAMP ART PROJECT、27.(公社)日本発達障害連盟、28.ジェネシス・オブ・エンターテインメント

障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会(事務局：(社福)グロー[GLOW])

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク、2.(一財)KODAMA国際教育財団、3.(社福)愛成会、4.(社福)明日へ向かって、5.(社福)いわみ福祉会、6.(社福)グロー(GLOW)、7.(社福)昇、8.(社福)清心会、9.(社福)南高愛隣会、10.(社福)はる、11.(社福)フラット、12.(社福)みんなできさる、13.(社福)八ヶ岳名水会、14.(社福)ゆうかり、15.(社福)ゆうゆう、16.(一社)日本精神科看護協会、17.(特非)DPI日本会議、18.(特非)鳥の劇場、19.(特非)脳損傷友の会高知 青い空、20.(特非)バリアフリー映画研究会、21.(特非)楽笑、22.湖南ダンスワークショップ実行委員会、23.滋賀県、24.島根県、25.鳥取県、26.長崎県

日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル in九州ブロック実行委員会

- (社福)愛隣園、2.(社福)長興会、3.(社福)もみの木会、4.(特非)DPI日本会議、5.(社福)全国重症心身障害児(者)を守る会、6.福岡県知的障がい者福祉協会、7.(一社)長崎県身体障害者福祉協会連合会、8.(一社)長崎県ろうあ協会、9.(一社)長崎県手をつなぐ育成会、10.長崎県肢体不自由児者父母の会連合会、11.長崎県福祉保健部障害福祉課、12.長崎県文化観光国際部文化振興課、13.長崎県福祉部障害福祉課、14.(社福)はる、15.(社福)ゆうかり、16.(社福)南高愛隣会



令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト

【問い合わせ先】

日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル in九州ブロック実行委員会事務局(社会福祉法人 南高愛隣会)
〒854-0001 長崎県諫早市福田町357番地15
TEL:0957-24-3600 FAX:0957-47-5033
Mail:unzen@airinkai.or.jp



日本博を契機とした

障害者の文化芸術フェスティバル

in 九州

「日本人と自然」を障害者の視点を通じて世界に発信する、文化・アートの祭典

松本寛庸「シンマラ城」



「日本人と自然」を障害者の視点を通じて国内外に発信する、文化芸術フェスティバルを開催します。障害者の芸術表現、そして障害者が自身の特性とともに生きる様には、日本人が縄文時代から持つ、四季折々の天然の色彩、音の風情を慈しむ心が強く滲み出ています。本フェスティバルは全国の50万人の関係者および厚生労働省と連携して、2020年から2年間かけて全国7ブロックで展開します。九州ブロックでは、歴史的な観光資源が数多く存在する長崎県長崎市を舞台に、本イベント最大規模の展覧会や障害者の舞台芸術をオンライン上で発信します。

PROJECT 2

障害者による舞台芸術 [ウェブ配信](#)



2020年9月19日(土) 13:30~15:00

告知URL: <https://artbrut-creation-nippon.jp/2020kyushu/>

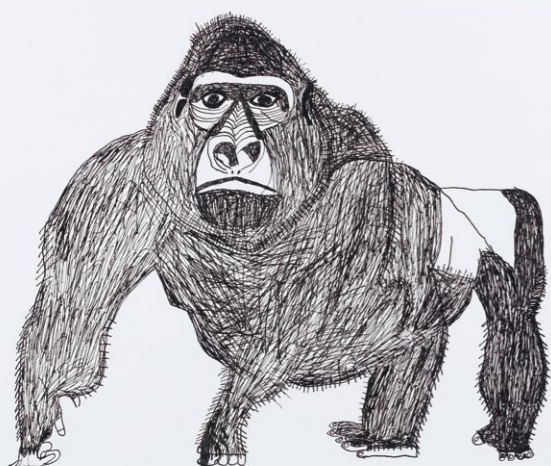
国内外で高い評価と公演実績を有する、地元・長崎が誇る、知的障害者の和太鼓集団「瑞宝太鼓」の公演。オープニング・アフタートークあり

瑞宝太鼓: 2001年の結成以来、「希望し、努力し、感謝して生きる」をテーマに、国内外を問わず演奏活動を行う。全国の少年院・刑務所での演奏や学校公演など、社会貢献活動も行い、人々に感動と生きる力を与え続けている。

・ウェブ配信専用インフォメーション(9月19日当日のみ): 0748-46-8100 (社福 グロー)



姫野 暁「ゴリラ」



中武 卓「ワンピースを着たT子さん」



西之原清香「金閣寺」

PROJECT 1

アール・ブリュット -日本人と自然- in 九州

2020年9月17日(木)~26日(土) 10:00~18:00

会場:長崎県美術館 県民ギャラリー全室(長崎市出島町2-1)

入場料:無料

出展作家:赤嶺勝郎・秋永 光・荒木聖憲・犬塚 弘・大隅隆広
加茂賢一・記 富久・喜舎場盛也・木村 茜・木村佑介・五井雅人
後藤春枝・齋藤 泉・坂口倫太郎・佐久田祐一・佐藤純二郎・城瑠那子
末廣大翔・田中康弘・田湯加那子・戸倉清志・富山健二・中嶋千晶
中武 卓・仁井将貴・西之原清香・姫野 暁・藤岡祐機・藤野友衣
曲棍智恵美・松本孝夫・松本寛庸・与那覇俊・CANKTLE

「日本人と自然」をテーマに全国の作品と九州の各地から選出された作品を展示。展覧会は、「アート日常一直線 生活環境 身の回りの世界」「線と色彩 跳び立つかたち 抽象 ストローク 点描」「いのちエネルギー 噴出 動物 人 植物」「遠くを見つめる視線 未来 過去 見知らぬ世界 宇宙 空想」の4つのエリアに分けて作品を展示する。

9月17日(木)11:00~12:00キュレーターによるギャラリートークあり

料理研究家・服部幸應先生による講演等あり



PROJECT 3

「農×福×食」九州の食を味わうイベント

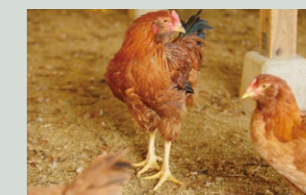
2020年9月21日(月・祝) 11:00~13:30

会場:登利亭 国見店(雲仙市国見町多比良良戊291-1)

参加費:2,000円・要予約(食事代含む)

講演タイトル:「食は文化」

日本の食の豊かさ、おいしさを、障害者の視点とともに国内外に伝える「農×福×食」イベントを開催。長崎の障害福祉サービス事業所が生産する農作物、食品などの現場取材して、食材の魅力、食にまつわる思いを発信。料理研究家・服部幸應氏監修のもと、これらの食材を活かしたレシピを考案し、雲仙市の登利亭にて、講演会と実演会を実施する。



・お問い合わせ:0957-24-3600(社福 南高愛隣会)

障害福祉サービス事業所で飼育された対馬地どり(長崎県)

誰もが参加できるように

障害者の文化芸術フェスティバルは、障害の有無に関わらず誰もが楽しめるような取組をします。当日は来場者の滞在や鑑賞をサポートする窓口を設置するほか、様々な情報保障を行います。詳細は、ホームページに掲載しますので皆さまの来場をお待ちしています。

- ・手話通訳等の情報保障に関すること
手話や音声ガイドなどにより、それぞれのプログラムで情報保障を行います。
- ・車いす利用者の送迎対応
車いす利用者のために送迎車を準備します。運営時刻は追ってホームページに掲載します。
- ・ウェルカム電話、LINE
開催期間中、専用のお問い合わせ電話およびLINEを開設します。

Japan Cultural Expo Disabled People's Arts and Culture Festival

